

奈良経済産業協会

NARA ECONOMIC AND INDUSTRIAL ASSOCIATION

NEWS

平成28年9月 第24号



平成28年度（第32期）定時総会を開催

（総務委員会主催 H28. 7. 7）



佐藤 進 会長 一般社団法人奈良経済産業協会の平成28年度定時総会（第32期）を7月7日（木）に、橿原ロイヤルホテルにて開催しました。開会の冒頭、佐藤会長から、『労働人口が減少し、価値観が多様化する中、能力を一層発揮してもらえる環境・仕組みづくりが大切である。女性活躍推進の支援をはじめ、長時間労働の削減、介護離職の防止等の取組について、本年度も“人づくり”に注力して重点的に取り組んでいく』と挨拶されました。

【第1部 定時総会】

27年度事業報告・収支決算、28年度事業計画・収支予算、及び役員交替の提案された全議案が、原案通り満場一致で承認されました。

特に、従来から取り組んでいる階層別・職種別の人材育成事業を拡充し、非製造業の生産性向上への取組や、人材の確保・定着への支援等、会員相互の交流を深める場面の拡充などが承認された。

役員交替では、異動に伴う新理事の承認と共に、新しく副会長に、関西電力㈱奈良支社の木村治久支社長、シャープ㈱ビジネスソリューションカンパニーの中山藤一専務執行役員ビジネスソリューションカンパニー社長、大和ハウス工業㈱奈良工場の尾崎学工場長が就任されました。



【第2部 優良従業員表彰と記念講演】

第2部の記念行事では、ご来賓を代表して、奈良県知事の荒井正吾様から、「奈良県経済の活性化に向け、県として、どんな経済政策が有効で、何が出来るかを議論し取り組んでいる。不確実な時代だからこそ皆様の知恵を頂いて、共に頑張っ



奈良県知事
荒井正吾 氏

て参りたい」と挨拶を頂きました。優良従業員表彰式では、知事賞を荒井正吾知事様から、県議会議長賞を川口正志議長様から、日刊工業新聞社社長賞を竹本祐介取締役大阪支社長様から、それぞれ授与頂きました。また受賞者に向けて、川口議長様からお祝いのお言葉を頂きました。＜受賞者の紹介は3頁に掲載＞

記念講演では、ダンロップスポーツ㈱相談役で（公社）兵庫工業会副会長の馬場宏之様に『ゴルフクラブ「XXIO」～誕生から成長の軌跡～』と題し、ご講話頂きました。＜概要は2頁に掲載＞

【第3部 交流懇親会】

第3部の交流懇親会では、奈良県副知事の浪越照雄様から「中国・新興国等の減速から不透明を増す中、県も産業振興へ各重点分野を連携させるよう取り組んでいる。産業界の方々には一層のご支援をお願いしたい。」とご挨拶を頂きました。続いて、日刊工業新聞社の竹本大阪支社長様に乾杯のご挨拶を頂き、和やかに懇親会が開会されました。



㈱日刊工業新聞社
取締役大阪支社長
竹本祐介 氏

当日は県内の経済・行政・教育の各機関から多くのご来賓のご臨席を得て、会員との交流・情報交換が活発に行われて、有意義な場となりました。

平成 28 年度 定時総会 記念講演

『ゴルフクラブ「XXIO」～誕生から成長の軌跡～』

ダンロップスポーツ株式会社 相談役 馬場宏之 氏

講師のダンロップスポーツ(株)相談役〔(公社)兵庫工業会副会長〕の馬場宏之様は、ゴルフ用品の新ブランド・XXIO(ゼクシオ)の開発責任者として、ブランド価値を高め、現在のトップブランドへと大きく成長に導かれました。

講演要旨は次の通りです。



ダンロップスポーツ(株)相談役 馬場宏之 氏

XXIO(ゼクシオ)は、21世紀に向けた新しいブランドとして立ち上げることから、ローマ数字で21を表す“XXI”とGO ON(突き進む)の意味やボールを見立てて“O”をプラスして作った造語である。

阪神淡路大震災による影響やバブル崩壊で市場は減少し、また主力の糸巻ボールからソリッドボールへの展開が遅れてシェアが減少していた。更にアベレージ向けクラブはアメリカ・キャロウェイ社との契約だったが90年代末に切れたことで、後を埋める商品が必要となり、スポーツ事業自体の存廃の危機を迎えていた。

その中で、95年から新ブランド開発の責任者となり、ゴルフクラブ等の開発に取り組んできた。

ブランドのコンセプトは、50歳代でシビアな目を持ったアベレージ100前後の人を対象に、また飛びだけを追求するだけでなく、飛びや振り易さという各項目が平均的に高い80点主義で、トータルでの優位性・良さを目指した。

ゼクシオの開発を通し、学び感じたことは、心・技・体という言葉があるように、アスリートだけでなく、企業経営のヒト・モノ・カネという組織運用にも通ずるということである。心＝ヒト、技＝モノ(スキル・マーケティング)、体＝カネ・財務であり、順番も同じで、やはり人が一番大事で、向上したいとの強い思いが大切だと痛感した。

心＝ヒトの面で、当時社内に強い危機感があり、それが、開発・生産・営業が一丸となって、前向きに頑張って取り組んでくれる原動力となった。

技＝モノの面で、販売・商品企画ならマーケティング、商品開発なら技術力・シミュレーション等の基本スキルがやはり大切で不可欠である。

心・技がそろっていないといけない。様々に取り組んで失敗したことから、選択と集中が重要だ

と痛感した。“あれもこれも”では、絵に描いた餅に終わるので、目標達成へ向け、計画して実行できる人材・組織づくりが必要であり、身の丈にあった経営・バランス感覚が事業成功の鍵となる。

その中でマーケティングは大変重要だと考えている。当時の販売・営業は経験と勘が中心で、営業にも論理的な手法が必要と考えた。マーケティングにおける3C分析・STP・4P等という手法を使い、想定するユーザー層や製品の差別化等を明確にしていき、取り組む細部を詰めていった。

事前にケースを想定しても成功しない場合もあるが、準備をしっかりと出来たら成功する確率が高まる。その意味で、マーケティング手法は、正しく有効な方法だと実践してみて強く感じたので、必要なスキルとして社内に定着させていった。

製品の性能を進化させるためには、シミュレーションは不可欠である。従来は試作・テストを何度も繰り返したが、現在は初めから精度高く試作ができるようになると共に、弾道やスイング等のインパクト前後までも幅広いシミュレーションが可能となり、開発スピードが格段に早くなった。

ブランドにおいては、変えるものと変えないものを棲み分けることが大事である。変えるものは製品の性能等であり、新しく出す毎に体感できるレベルまで高めていかなくてはならない。

逆に変えないものとしては、ブランドの世界観であり、ブランドのイメージや感性を大事にすること。例えば、ヘッドが大きくなっていくと打球音は低くなるため、技術開発により、ヘッドが大きくなって高く澄んだ打球音を維持することで、ブランドへのユーザーの期待に応えることになる。

ブランドは製造から販売まで全社一丸となって、心技体の取組の進化を通し、全体で育てるという意識が大切で継続的に取り組む以外に方法はない。



平成 28 年度 一般社団法人奈良経済産業協会 優良従業員表彰 受賞者一覧

○知事賞

【創意工夫の部】

「裏面検査自動化システム構築による生産体制の合理化」

住江織物株式会社 奈良事業所 山崎 成 悟

【優良従業員の部】

「精励恪勤で会社の業績向上に貢献」

株式会社 高木包装 清 水 謙 二



＜知事賞 創意工夫の部＞
住江織物株式会社 奈良事業所
山崎成悟 氏

○県議会議長賞

【創意工夫の部】

「購買業務に関するシステム開発」

株式会社 呉竹 奥 田 昇 一

【優良従業員の部】

「精励恪勤で会社の業績向上に貢献」

住江織物株式会社 奈良事業所 新 崎 英 二



＜知事賞 優良従業員の部＞
株式会社高木包装
清水謙二 氏

○日刊工業新聞社社長賞

【創意工夫の部】

「緊急災害用トイレ「簡単トイレにカワルーノ」の開発」

株式会社高木包装 企画デザイン部

【優良従業員の部】

「精励恪勤で会社の業績向上に貢献」

株式会社上埜タイル 和 田 昌 昭

○奈良経済産業協会会長賞

【創意工夫の部】

「シーケンサー無線通信ユニットの推進」

光洋サーモシステム株式会社 中 平 清 彦

【優良従業員の部】

「精励恪勤で会社の業績向上に貢献」

ハウス食品株式会社 奈良工場 加 藤 里 守

〃 水 本 吉 哉

〃 西 郷 吉 昭



5 S 活動研修

人材育成委員会主催 (H28. 7. 12)

現場改善活動の基本となる「5 S」の推進に向けて、5 Sの基本的な考え方、具体的な活動の実践ポイント、推進のための手法について、幅広く系統立てて学ぶための研修会を開催しました。

講師は、大手機械メーカーで生産合理化プロジェクトの責任者等を歴任された YKN生産研究所 代表の徳田 勲 様にご指導頂きました。

5 S活動の本質は、単に“きれい”にすることではなく、職場に隠れるムダ・ムリ・ムラを発見・排除して、働き易い職場づくりを通して、作業者のやる気を向上させながら、生産性の向上を図り、会社・職場に貢献する活動です。

講義では、「5 S」の進め方と真の意味を学び、特に重要な整理・整頓について、モノの必要・不必要の判断基準づくりや、すぐにモノを取り出せるようにする3定（定位・定品・定量）の考え方などを解説いただきました。

5 S活動が定着しない原因には、時間が経つとマンネリ化してしまう事があるので、定期的な5 S勉強会や職場巡視、5 S改善発表会を行うなど、“やる気”を引き出す仕組みや仕掛けを実践していくことの大切さをご指導いただきました。

また、1枚の写真から5 Sの問題点を見つけ出し、対策を考える実践的な改善演習を行うと共に、各参加者が実際に行っている5 S活動について意見交換し、「5 S活動」の悩みや問題点、改善方法などをグループ討議することで、相互啓発にも繋がりました。

5 S活動は業種を問わず経営基盤を強化・向上させる活動と言えます。これからも会員企業様の5 S改善の取り組みに向けて支援して参りたいと思います。



YKN生産研究所
代表
徳田 勲 氏



品質ISO内部監査員養成講座

人材育成委員会主催 (H28. 7. 26-27)

規格で求められる内部監査に関して、恒例の品質ISO内部監査員養成講座を開催しました。

講師には、審査機関で主任審査員として活躍されると共に、企業の認証取得コンサルタントとしても活動されている玉木幸夫 様にお越し頂き、ご自身の経験を踏まえて「監査する側」と「監査される側」の双方の視点でご指導頂きました。

昨年末にISO9001が2008年版から2015年版に改訂され、改訂から3年間の移行猶予期間があることから、2008年版の内容にプラスして、2015年版での変更点（差分）についても新旧対比表を用いながら理解を深め、2008年版と2015年版の両方での内部監査の力量を担保することを目的として開催しました。

研修では、規格の要求事項の解説と共に、マネジメントシステムとして経営に寄与できるように、効果を上げるための内部監査の重要性など、具体的な事例を含めて学びました。

演習では、チェックシート作成や現場監査事例からの不適合抽出、監査後の是正処置報告書の作成など、実際に行う内部監査実施の手順に沿って一連の流れをより深く理解し、監査における勘所を学びました。

また、「監査する側」と「監査される側」に分かれて模擬内部監査を実施し、実際の内部監査における質疑応答を体験するなど、より実践的な演習を行いました。

最後に修了試験を行い、社内で内部監査員を任命するときの資格根拠としてご利用頂くことができる協会認定の修了証を発行しました。

今後も、認証取得・維持活動の支援に向けた取組を進めて参りたいと思います。



IRCA/JRCA
品質システム主任審査員
玉木幸夫 氏



奈良のいいね発掘コミュニティ

わくわく
奈良ぶら[®]
.com



女子会に 仕事仲間と
年4回 無料配布
グルメカーポン
JR・近鉄奈良駅周辺のお得なグルメ情報誌

JR・近鉄奈良駅
周辺の主要なホテルや
近鉄奈良駅構内
などに設置中



共同精版印刷株式会社 奈良ぶら事業部 TEL. 0742-33-1221 (担当: 安田)

奈良ぶら

検索



損害保険・生命保険代理店(南都銀行 友好法人)

南都商事株式会社

損害保険・生命保険の総合代理店として、個人・法人を問わずさまざまなリスクに的確に対応します。

南都商事

検索

《 本 社 》

〒630-8115

奈良市大宮町 4-297-2

NTT 奈良支店新大宮ビル 2F

TEL: 0742-34-7830

FAX: 0742-34-7632

《 橿原支社 》

〒634-0078

橿原市八木町 1-1-1

TEL: 0744-29-5726

FAX: 0744-29-5708

《 大阪支社 》

〒542-0076

大阪市中央区難波 4-7-2

TEL: 06-4395-5860

FAX: 06-6631-2721

応援します。あなたの健康！

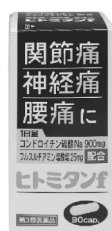


VB₁主薬製剤 フルスルチアミン効果で
眼精疲労・腰痛・肩こり・関節痛を和らげます。

アスピリンV100

ビタミンB₁ 100mg

ビタミンE 配合



コンドロイチン効果+フルスルチアミン効果で
眼・肩・腰の神経や関節の痛みを和らげます。

ヒトミタンf

コンドロイチン硫酸Na 900mg

フルスルチアミン塩酸塩25mg 配合

佐藤薬品工業株式会社

〒634-8567 奈良県橿原市観音寺町9番地の2
Tel 0744-28-0021 Fax 0744-28-0030
http://www.sato-yakuhin.co.jp/

会社が求める人材を確保できていますか？



企業内を活性化させ、事業を推進し、業績を高める。そのビジョンを実現する原動力は「人のチカラ」です。

しかし、優秀な人材を採用したい一定数を採用したい、そう願っても人材の確保は容易ではありません。若年労働力の不足は、今後益々、深刻さを増していきます。

そのためにも、同業他社との差別化を図るための「ブランディング=企業価値」と採用のノウハウを身につける必要があります。

各種広告媒体を始め、Web戦略、採用コンサルタントに至るまで、お気軽にご相談ください。



大光宣伝株式会社



0120-540-888

広告 奈良

検索

KAIZEN・改善のすすめ（第13回）

これまでは、改善に向けて、基礎・基本となる考え方と必要な知識・視点について考えてきましたが、今回からは実際に具体的な改善への取り組み方・進め方についてまとめます。

1. 改善はQCストーリーに則って一段ずつ

現場力の向上と原価の低減に向けて、改善の基礎となる5Sのあり方と、原価低減のための原価の構造やムダの削除について考えてきました。

これらを基礎にして、目の前にある「問題・課題」を実際に改善していく具体的な取り組み方・進め方について考えていきます。

問題を解決する上で、皆様よくご存じの「QCストーリー」と呼ばれている解決への道筋・ストーリーに沿って取り組むことがポイントです。

目の前の問題が、いくら喫緊かつ重要であっても、応急処置を除けば、やみくもに・勘に頼って取り組んでも成果は見込めません。

やはり合理的に考え進めながら、一つずつ“出てくる課題を潰して”いくしか方法はありません。

その段階的な解決の手順をまとめます。

【改善の基本ステップ（QCストーリー）】

手順1：テーマ設定

問題点を探し出し、問題点を絞り込んで、テーマを明確にする。

手順2：現状の把握

事実を集めて、問題点の現状を明確にし、攻撃対象を見つける。

手順3：目標の設定

目標に対し、何を（内容）・いつまで（期限）・どれだけ（目標値）を明確にする

手順4：活動計画の作成

実施する項目・分担・活動日程をまとめ、全員参加で取り組む体制を作る

手順5：要因の解析

問題である現状調べ、それに影響している要因をあげて因果関係を明確にする

手順6：対策の検討と実施

アイデアを出して、具体的な対策を検討し実施方法を検討して、実施する。

手順7：効果の確認

現状の把握と同じ方法で効果を確認して、目標値と比較して達成度を調べる。

手順8：標準化と管理の定着

標準を制定して、その管理方法を決めて、維持する仕組みを定める。

2. 改善を進める上での大切な視点・考え方

改善を合理的に進める上で、“現場の現状”をしっかりと「数値で見える化」することが大切です。

例えば、1個あたりの加工時間、製品・仕掛・材料の在庫量、不良率や不良内容、設備稼働率（停止時間）・・・等、これらの現実を数値化することで、全員が現状を理解し、納得することができます。

また、上記の現状を把握するのに、基準・標準となるものが必要で、決められた方法・内容で、現状の様子を見える化することが重要です。

問題・課題が大きくなままでは考えづらいので、小さく・分割して考えることが大切です。しかし、こだわり過ぎると全体が見えなくなるので、その時は一段高い視点から全体を見渡し俯瞰して見るものが大切であり、常に原点・基本に立ち返って、なぜ？何のために？を明確にして、考えて取り組みことを意識することが重要です。

3. 改善の考え方・意図を明確にする

普段何気なく使っている「問題と課題」「原因と要因」「成果と効果」の似た言葉は、何が違うのでしょうか。これは改善の考え方の本質を表しているといえます。様々な解釈がありますが、製造業においては以下の様に考えるのが一般的です。

「問題」は「あるべき姿と現状とのギャップ」のことであり、「課題」は「問題解決に向けて具体的な方向性」といえ、問題はコスト削減であり、課題はそのための5S改善となります。

「原因」は「ある事象を起こしたもので」「要因」は「ある事象に影響のあるもので、原因は1つで、要因は複数あります。交通事故を例に、原因が居眠り運転で、要因は夜更かしとなります。

「効果」は対策に取り組んだ結果を表し、当初との差（例：作業時間の減少＝労務費削減）となり、「成果」は実際に残業代削減につながったかがポイントとなります。効果を“成果”へつなげる更なる工夫が必要となります。

改善に取り組む側が目標や意図を明確にして、共通理解を深めて進めることが重要となります。

次回以降は、各手順について詳しく解説します。

すべては、お客様のために。

野村は、世界の金融商品の豊富なラインナップ、
充実したグローバルな投資情報、そして
ご信頼いただけるきめ細かなサービスを提供することで、
より一層お客さまのお役に立てるよう努めています。



野村證券株式会社 奈良支店

〒630-8227 奈良市林小路町45番地
電話 0742(22)0351(代表)



観光客から地元の方まで、またお屋のバイキングから 夜は
「なにわの名工」の称号を持つ料理長の逸品料理までお楽し
みいただけます。 70名までの宴会も対応しております。



〒630-8226 奈良市小西町23番地
花小路ビル2F Tel: 0742-23-9551



創業明治7年 お客様の課題解決パートナー



株式会社 明新社

www.meishin.co.jp



奈良の地で
印刷を軸とした様々な
コミュニケーションツールを
創造しています。

奈良ひとまち百景より
餅飯殿センター街入り口
奈良の風景・街並みをイラストにし、地元の
方々がより親しみを持って奈良を発信する
ことを目的としています。

〒630-8141 奈良市南京終町3丁目464番地 TEL 0742-63-0661(代表)

奈良ロイヤルホテル

ご予約承り中!

・各レストラン

・ご宿泊

・ご宴会

・ご婚礼

・天然温泉

日本料理 竹の家
中国料理 沙山華
レストラン 万葉
テラスウイング 扇

近鉄奈良駅・JR奈良駅より
無料シャトルバス

駐車場無料

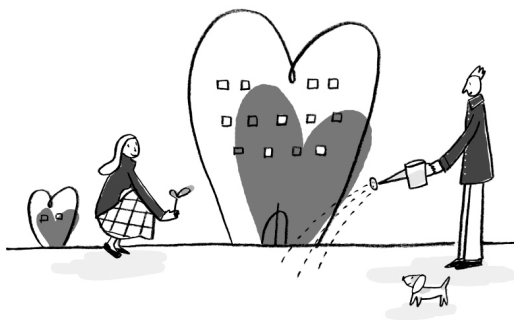
〒630-8001 奈良市法華寺町254-1 TEL 0742-34-1131(代)
http://www.nara-royal.co.jp

人、まち、環境、 創って育てる村本です。

村本建設株式会社

代表取締役社長 村本 吉弘

本社／〒543-0002 大阪市天王寺区上汐4丁目5-26 TEL 06-6772-8201
奈良本店／〒635-0822 奈良県北葛城郡広陵町大字平尾11-1 TEL 0745-55-1151
奈良営業所／〒630-8353 奈良市柳町31-1 TEL 0742-27-8011
http://www.muramoto.co.jp/



もっと軽にできること。



奈良ダイハツ株式会社

愛車の点検整備は、しっかりと!

奈良店	奈良市南京終町2-275	TEL (0742) 62-0777
登美ヶ丘店	奈良市中登美ヶ丘3-13-1	TEL (0742) 44-1150
三条大路店	奈良市三条大路4-2-12	TEL (0742) 94-7890
橿原曲川店	橿原市曾我町35	TEL (0744) 23-1381
橿原耳成店	橿原市常盤町270	TEL (0744) 25-1900
香芝店	香芝市高150-3	TEL (0745) 76-7211
生駒店	生駒市東松ヶ丘17-17	TEL (0743) 74-2176
郡山店	大和郡山市筒井町531-7	TEL (0743) 84-7700

会員企業訪問 (NO.14) ～ 株式会社トーマ ～

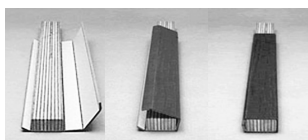


(株)トーマ
代表取締役社長
当麻和重 氏

今回は、大和高田市にあります、(株)トーマ様を訪問し、代表取締役社長の当麻和重様にお話を伺いました。

同社は昭和2年に学童用机・椅子を製造する木材加工の事業で創業され、今年で89年目を迎えられます。

戦時中は、旧陸軍の軍需工場として無線機のボックスを製造、戦後は大手電機メーカーのテレビの木製キャビネットを製造されておられました。テレビの普及に伴い売上も好調でしたが、安価なプラスチック製のキャビネットが出始めたため、先代の社長が低コストな製品ができないかとVカット工法を開発されました。



Vカット工法

Vカット工法とは、硬板に木目の模様を印刷したシート（紙・オレフィン）を貼付け、裏側からシート1枚を残して様々な角度のVカットを入れ、自由に折り曲げられる加工をし、芯材（集成材等）に貼付ける工法で、本物の木材と見分けがつかない外観・肌触り・強度に優れ、高品質と量産を可能にした加工技術でしたが、昭和45年にはキャビネットの受注が完全に無くなり、新しい製品開発が必要となりました。



クローゼットドア

経営が危機的状況の中、Vカット工法を応用した室内ドア・クローゼットドア・間仕切りドア等の室内建具を開発し、大手の建材・住宅メーカーに採用されました。

折からの住宅建設ブーム、顧客ニーズが和風から洋風に、タンスからクローゼットへ変化したことも追い風となり、受注が年々増加しました。

クローゼットドアについては、本社・都祁工場を合わせて、年間45万セット製造されておられます。生産量は日本一とのことでした。

受注増に対応するため、昭和61年に本社工場にVカット成型自動化ラインを導入したのを皮切りに、都祁工場には、100m以上にも及ぶ材料投入から完成品梱包までのクローゼット全自動化ライン、室内ドア自動生産ラインを設置し、受注から2日で出荷するという短納期で生産されています。

同社は経営理念に「技術とアイデアのトーマ」と掲げておられ、独自の発想や工夫で、流行やニーズに対応した製品開発・設計を得意とされておられます。



本社工場内

開発した新製品は、工場内に設置した環境試験室で低温や高湿度など過酷な条件による試験を行い、またドア製品の開発では、一週間以上に及ぶ開閉耐久試験を実施し、高性能・高品質な製品づくりを徹底されています。

また、室内建具だけでなく、自社ブランドの製品開発にも力を入れておられ、Vカット工法を生かしたキューブ型のラック・扉・アジャスター等を自由に組み合わせる収



納インテリア (V-TISS) や“コ”の字型のラック (V-TISS プラス) など開発され、市場で大変話題となっています。

社長様からは、「今年の会社方針として3C（チャレンジ・チェンジ・コミュニケーション）を掲げている。社員自ら主体となって行動でき、ものづくり精神を持って創意工夫していくことが大事。高品質・高性能だけでなく、デザイン性・機能性に優れ、顧客の満足を高め、信頼される製品づくりを行い、豊かな住環境を提供できる開発型企業を目指していきたい。」とお話頂きました。



本社（大和高田市）



都祁工場

< 企業情報 >

会社名：株式会社トーマ

設 立：昭和35年（創業昭和2年）

住 所：〒635-0017 大和高田市東雲町13-4

代表者：代表取締役社長 当麻和重

社員数：153名

森をつなぐ、未来へつなぐ。

1300年という悠久の歴史に守られてきた古都・奈良。

私たちは、その素晴らしい文化や

風土を守り継ぐため、

吉野の森をはじめとする環境保全に取り組んでいます。

緑に包まれた豊かな自然を

お客さま一人ひとりの豊かなくらしを

しっかり未来へつないでいきたい。

南都銀行は、地域とともに、あなたとともに、

豊かな未来を拓いていきます。

ナント・なら・ずっと！

 **南都銀行**

南都銀行本店／奈良市橋本町16 <http://www.nantobank.co.jp/>



南都銀行は「Yoshino Heart プロジェクト」を応援しています。

吉野産の杉やヒノキなどから生まれた木製品の普及を通じて、
林業関連産業の活性化や地球環境保全をめざしています。

事務局だより

新入会員様ご紹介

至誠堂製薬株式会社

【企業概要】

設立：大正6年

資本金：5,000万円

代表者：代表取締役社長

富士 俊 隆

所在地：〒639-2241

奈良県御所市茅原 220-1

TEL：0745-62-5555

FAX：0745-62-5670

URL：<http://www.shiseido-ph.co.jp/>

従業員：62名

事業内容：医薬品製造販売

我社は、大和の伝統産業でもあります医薬品の製造販売を行っております。今年は創業100年を向かえ、次の100年に向かって道経一体の経営を学び、実践しています。現在の主な販路は、受託、OEM中心に営業しておりますが、将来に向け海外市場に販路を求め、営業活動を行っているところです。



たかつじ商事株式会社

【企業概要】

創業：昭和51年7月

資本金：1,000万円

代表者：代表取締役社長

高辻 良 成

所在地：〒630-8114

奈良市芝辻町 2-11-50

TEL：0742-81-7971

FAX：0742-35-5635

従業員：1名

事業内容：不動産賃貸業 東横イン

新大宮駅前で、東横イン新大宮駅前店ならびに、住宅型有料老人ホーム“奈良桃寿園”の物件を賃貸しています。これまで、いろいろなご縁をいただき、事業を営んでまいりました。奈良経済産業協会入会にあたり、また新たなご縁をいただき、ご指導を頂戴したいと思います。

よろしくお願いいたします。



株式会社トミカラー

【企業概要】

創業：昭和38年5月

資本金：3,000万円

代表者：代表取締役社長

富川 悟

所在地：〒630-8124

奈良市三条桜町 16 番 13 号

TEL：0742-33-5125

FAX：0742-33-5634

URL：<http://www.tomicolor.co.jp>

従業員：50名

事業内容：銀塩プリント、フォトブック

デザインアルバム等

昭和38年5月創業以来50数年、富士フイルム株式会社のグループ企業で西日本地区に於ける基幹ラボとして営業しています。写真プリント、フォトブック・デザインアルバム作製、印刷、撮影等。

デジタル写真・映像に関する業務を遂行し人々の記録、思い出づくりに貢献する企業を目指して活動しています。



代 表 者 変 更

☆関電不動産開発株式会社 大阪南支店
奈良営業所

(旧) 白石 直也 (営業所長)



(新) 西村 圭介 (営業所長)

☆国際化工株式会社

(旧) 神末 尚武 (代表取締役社長)



(新) 神末 宗和 (代表取締役社長)

☆株式会社ヒラノテクシード

(旧) 三浦 日出男 (相談役)



(新) 岡田 薫 (代表取締役)

奈良経済産業協会NEWS 第24号

平成28年9月発行

一般社団法人 奈良経済産業協会

〒630-8031 奈良市柏木町129-1 奈良県産業振興総合センター内

TEL(0742)36-7370 FAX(0742)36-7371

<http://www.nara-eia.or.jp> E-mail: info@nara-eia.or.jp